

様式4

第1 事業計画

1 個別事業計画一覧表（1）

令和7年4月1日 現在

目標	事業種目 (メニュー)		実施市町村	事業実施主体	事業量 (ha、m、箇所)	事業費 (千円)	国費 (千円)	備考						
林業・木材産業の 生産基盤強化	間伐材生産	間伐材生産						円/ha m ³						
		関連条件整備活動												
		うち森林作業道整備												
		合計												
	路網整備・ 機能強化	林業専用道（規格相当）の整備												
		A区分												
		B区分												
		C区分												
		補強												
		点検診断												
		森林作業道の整備												
		林道等の機能強化												
		機能強化（単独型）												
		機能強化（一体型）												
		森林作業道の機能強化												
		林業専用道（規格相当）の復旧												
		合計												
	附帯事務費													
	総計													

該当なし

目標	事業種目 (メニュー)	実施市町村	事業実施主体	事業量 (ha、m、箇所)	事業費 (千円)	国費 (千円)	備考
森林整備の地域 活動推進	(森林整備地域活動支援対策のうち) 森林経営計画作成促進	長浜市	滋賀県森林組合北部事業所	78ha	1,764	882	7年度基金
		米原市	滋賀県森林組合北部事業所	28ha	1,064	532	
		長浜市	滋賀県森林組合伊香事業所	85ha	680	340	
	交付金合計						
	基金合計			191ha	3,508	1,754	
	(森林整備地域活動支援対策のうち) 森林境界の明確化	長浜市	滋賀県森林組合北部事業所	40ha	1,800	900	7年度基金
		米原市	滋賀県森林組合北部事業所	28ha	1,260	630	
		高島市	高島市森林組合	46ha	2,852	1,426	
	交付金合計						
	基金合計			114ha	5,912	2,956	
	(森林整備地域活動支援対策のうち) 森林所有者の探索						
	交付金合計						
	基金合計						
	(森林整備地域活動支援対策のうち) 森林経営計画作成・森林境界の明確化に向けた 条件整備						
	交付金合計						
	基金合計						
	(森林整備地域活動支援対策のうち) 都道府県推進事務						
	交付金合計						
	基金合計						
	(森林整備地域活動支援対策のうち) 市町村推進事務						
	交付金合計						
	基金合計						
	交付金総計						
	基金総計			305ha	9,420	4,710	

目標	事業種目 (メニュー)	実施市町村	事業実施主体	事業量 (ha、m、箇所)	事業費 (千円)	国費 (千円)	備考	
林業・木材産業の 生産基盤強化	低コスト 再造林対策		該当なし				円/ha 植栽樹種： 植栽本数： 本/ha	
							円/ha 具体的な施業： 植栽樹種： 植栽本数： 本/ha	
							円/ha 下刈り回数： 回目	
							資機材の種類：	
合計								
附帯事務費								
総計								

(注)

- 1 「間伐材生産」及び「路網整備・機能強化」の事業実施主体については、林野庁長官が別に定める考え方則って都道府県知事が選定した林業経営体、本事業の対象となる事業実施主体を記載すること。
 - 2 「間伐材生産」及び「路網整備・機能強化」の各欄については、林野庁長官が別に定めるところにより都道府県知事が設定した生産基盤強化区域内又は市町村森林整備計画に定める特に効率的な施業が可能な森林の区域内において実施する事業について記載すること。
 - 3 「実施市町村」は、事業実施主体が事業を予定している市町村名を記載すること。
 - 4 「事業量」、「事業費」及び「国費」については、事業種目ごとに合計を記載し、間伐材生産、路網整備・機能強化については、2事業の総計を「総計」欄に記載すること。
 - 5 「間伐材生産」は、定額の単価と間伐材生産量を備考欄に記載すること。
 - 6 「路網整備・機能強化」の「林業専用道（規格相当）」については、設計・技術審査会の設置状況を備考欄に記載すること。
 - 7 「森林整備地域活動支援対策」については、「交付金」「基金」別に記載することとし、備考欄に事業実施年度も記載すること。
 - 8 「低コスト再造林対策」は、定額の単価及び具体的な施業、植栽樹種、植栽本数、下刈り回数、資機材の種類を事業種目に応じて備考欄に記載すること。
- * 行については、適宜加除のこと。

1 個別事業計画一覧表（2）

<合計>

目標	メニュー	実施内容	事業実施主体	事業費 (千円)	国費 (千円)	地域 提案	備 考
山地防災情報の周知				0	0		
森林資源の保護				2207	1098		
林業の多様な担い手の育成				4831	2373		
林業経営体の育成				0	0		

<個別事業計画>

森林資源の保護	森林資源保護の推進	シカ・クマによる造林木への剥皮被害を防止するためのテープ巻き	滋賀県造林公社	1292	646	テープ540千円+ 人件費752千円 =事業費1,292千円
森林資源の保護	森林資源保護の推進	シカ・クマによる造林木への剥皮被害を防止するためのテープ巻き	高島市森林組合	110	50	テープ44千円+ 人件費66千円 =事業費110千円
森林資源の保護	森林環境保全の推進	県が配置する水源林保全巡視員による火災予防活動及び火災予防活動のための条件整備	滋賀県	805	402	人件費：805千円
林業の多様な担い手の育成	人材の確保・育成・定着	林業労働力育成協議会の開催	滋賀県林業労働力確保支援センター	100	50	・協議会実施 (報償費、旅費等100千円)
林業の多様な担い手の育成	労働安全の確保	安全巡回指導の実施、特殊検診等の実施	林業・木材製造業労働災害防止協会滋賀県支部	1747	873	・巡回指導活動18箇所(報償費、旅費等394千円) ・振動障害特殊検診100人、蜂アレルギー抗体検査110人(受診料1,353千円)
林業の多様な担い手の育成	持続的な林業経営の確立	森林組合の経営判断手法習得、経営改善・組織体制構築の支援	滋賀県	2984	1450	・マネジメント強化対策研修会(委託料2,984千円)

(注)

- 1 メニューについては、別表4に定める事項を記載すること。
- 2 実施内容については、森林・林業・木材産業グリーン成長総合対策補助金等交付等要綱（平成30年3月30日付け29林政政第893号農林水産事務次官依命通知）別表2の2の経費欄に掲げる内容を踏まえ、わかりやすく簡潔に記載すること。
- 3 目標ごとに事業費及び国費の合計を記載すること。
- 4 地域提案事業は、個別事業計画ごとに地域提案の欄に「○」を記載すること。
- 5 実施地域及び項目ごとの積算基礎（実施数量、事業費の内訳）を備考欄に記載すること。
- 6 「林業経営体の育成」の実施内容、事業実施主体、事業費、国費及び備考欄については、林業機械リース支援を活用する事業実施主体ごとに記載することとし、実施内容欄については導入予定機械名及び台数を記載すること。また、機械の再貸付けを行うものにあっては、備考欄に「再貸付」と記入すること。

* 行については、適宜加除のこと。

3 事業実施主体ごとに定める指標（個別指標）
(1) 森林整備・林業等振興整備交付金

目標	メニュー	事業種目	実施市町村	事業実施主体	事業内容	事業費(千円)	交付金（国費）			個別指標							費用対効果分析の結果	公庫資金	備考	
							事業費(千円)	附帯事業費(千円)	合計(千円)	個別指標単位	現状値	1年目	2年目	3年目	4年目	目標値				
											(R7年度) (2025)	(R8年度) (2026)	(R9年度) (2027)	(R10年度) (2028)	(R11年度) (2029)	(R12年度) (2030)				
林業・木材産業の生産基盤強化	木質バイオマス利用促進施設の整備	未利用間伐材等活用機材整備	米原市	山室木材工業（株）	未利用間伐材等活用機械 その他 グラップルソー 1台 油圧ショベル グラップルソー ワインチ フォワーダ 1台 （株）諸岡製 林地残材收集運搬仕様	32210	14640		14640	木質バイオマスの利用量 m ³	川上との連携（選定経営体との安定取引協定締結数） 者	625	3125	4000	5000	6000	6875	1.26	増加量 6,250m ³ 施設の効率性 0.118m ³ /千円	・加算指標あり：死傷災害の発生、賃金引上げ、枝葉・短尺材利用 ・都道府県優先
合 計					計	20790	9450		9450			1	1	1	1	1	2			
総 計						53000	24090	0	24090											
うち地域提案						53000	24090	0	24090											

(注)

- メニューについては、別表2の事項を、個別指標については、別表4に定める事項を記載することとし、個別指標ごとに定める（ ）書き内の増加量、増加率等は、備考欄に記載のこと。
- 事業種目については、別表1の該当事業種目を、事業内容については、別表1の工種又は施設区分①から④まで（必要に応じて具体名を併せて記載）及び数量を記載すること。
- 実施市町村は、施設等整備を予定している市町村名を記載すること。
- 交付金（国費）欄の事業費については、附帯事業費を含めて記載すること。また、備考欄には、目標ごとの附帯事業費の計を上段に「附帯事業費 円」と、下段にはその交付金（国費）分を（ ）書きで記載すること。
- 都道府県附帯事務費及び市町村附帯事務費については、目標ごとの附帯事務費合計欄における合計額の下段に「都道府県附帯事務費○○」、「市町村附帯事務費○○」と記載のこと。また、総計欄における附帯事務費についても同様とする。
- 事業実施主体・メニューごとに計、目標ごとに合計及び全ての計を総計に記載すること。
- 総計のうち地域提案事業の計を記載すること。
- 地域提案は、それぞれ補完し関連して実施しようとする目標の欄に記載することとし、備考欄に地域提案である旨を記載すること。
- 交付対象物件を担保にし、自己資金の全部又は一部について国の融資制度を受ける場合には、備考の欄に「融資該当有」と記載すること。
- 日本政策金融公庫資金の林業構造改善事業推進資金（補助事業を用いないが事業計画と一緒に実施する単独融資事業も含む。）又は農林漁業施設資金を希望する場合は、「公庫資金」の欄に「○」を付すこと。
- その他（該当する場合は、備考欄に記載のこと。）
 - 木材加工流通施設等の整備については、位置づけられている広域流通構想等の構想名
 - 木材加工流通施設等の整備及び木造公共建築物等の整備のうち、建築物木材利用促進協定を締結している場合は協定の名称を記入。（併せて協定の写しを添付し、提出すること。）
 - 木造公共建築物等の整備については、交付対象事業費を記入。
 - 木造公共建築物等の整備のうち、エコスクールに関する取組については、認定学校名を記入。
 - 木造公共建築物等の整備のうち、脱炭素社会の実現に資する等のための建築物等における木材の利用の促進に関する法律第12条第1項に基づき策定した市町村方針に基づく取組については方針名を記入。
 - 木質バイオマス利用促進施設の整備のうち、「バイオマス産業都市構想」又は「分散型エネルギーインフラプロジェクト」のマスタープランに基づく取組については、その名称及び公表年月日を記入。
 - コンテナ苗生産基盤施設等の整備について、事業実施主体が「認定特定増殖事業者」に該当する場合は、「認定」と記入。また、目標値の達成が6年目以降となる場合は、達成年度までの毎年目標値を記入。
 - 施設の貸付けを行うものにあっては、貸付けを受ける（計画している。）事業実施主体名を備考欄に記入する。
 - 加算指標がある場合は、「加算指標あり：○○○（指標名）」と記入すること。都道府県優先得点を加算する場合は「都道府県優先」と記入すること。
- 別表2の2の「9 林業機械リース支援」の(2)細則の④の資料は、本様式に準じて作成するものとし、個別指標及び目標値欄は、事業実施主体ごとのリース期間満了年度における素材生産量及び素材生産性の計画値を記載し、費用対効果分析の結果欄は記載しない。
- SCM（サプライチェーンマネジメント）推進フォーラムと連携した取組への支援は、備考欄に「SCM推進フォーラムと連携した取組」と記載すること。また、事業計画書の内容がサプライチェーン構築の実現に向けた取組と関連していることが明確に分かる資料（具体的な構想・計画等）を別途添付すること。

* 行については、適宜加除のこと。